



## \*明けましておめでとうございます\*

令和3年が幕開けとなりました。皆さま、どんなお正月をお過ごしでしたでしょうか？

今年は昨年に比べて寒さも一段と厳しく、積雪の量もとても多いようです。更に、天候だけではなく、日常の中でも常にコロナウイルス感染対策に気を付けながらの生活がしばらく続きそうな気配ですね。

りんりんの会でも昨年2月以降、定例会や研修会などが全て中止となり、皆様とお会いする機会が全くなくなってしまいました。皆さんと一緒に集まって情報交換会が出来、皆さんと交流できたことがいかに貴重な時間だったか、つながりが出来たことがどんなに励みになったかなど、人と人のつながりが途絶えてしまった今、つながりの大切さが身に染みて分かるようになりました。

りんりんの会の活動にいつもご支援・ご協力いただいている医療スタッフの方々や会員の皆様、そして時々、病院HPをのぞいてみてくださっている方々、コロナ禍の中でも患者様を孤立させないようなサポートを心掛けながら、様々な形での情報発信を継続していきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

\*凜(りん)として自分のために！ \*輪(りん)として仲間のために！ \*鈴(りん)として社会のために！

## 【RinRin 今後の予定について】

## ●1月～3月までの「定例会」は中止と致しました●

\* 予定していた内容は、

1月：がんサバイバーさんのためのココロとカラダを癒すヒーリング YOGA

2月：温泉に入ろう会・こころん情報交換会(若年層の患者様対象)

3月：補整用パッド講習会&下着の相談会

※ 今回は中止という決定を致しましたが、必ず開催できる日が来ることを願っています。

※ 4月以降(次年度)の予定につきましては、次回の通信でお知らせいたします。

## ●「りんりん相談室」の開催は継続しております●

\* 日時：毎月第4水曜日・PM1:30～3:00 (時間短縮しています。)

\* 場所：大崎市図書館 2階研修室

\* 内容：情報交換・個人相談・パッド作り講習会(※パッド講習会のみ要予約)

※ りんりんスタッフがお待ちしております。初めての方・会員以外の方でもご参加できます。

※ 発熱や体調が思わしくない方はご遠慮いただきます。(マスク着用・手指消毒等は必須)

## 高齢者乳がん

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田 龍一

みなさん、相変わらずのコロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか。Go To 何とかで無症状の感染者が全国に散らばり会食したおかげか、急速に第三波が広がっており、いつまでこんな状態が続くのかうんざりしている毎日ですね。みなさん、もうしばらくおとなしく辛抱しましょう。

さて、我が国の乳がんの好発年齢は 50 歳前後がもっとも多く、次いで 70 歳以上の高齢者です。他のがん腫は年齢が高くなればなるほど罹患率が高くなるため、50 歳前後にピークが来る事はありません。当院でも消化器癌は圧倒的に高齢者が多いようですが、高齢者の乳がんも多いと感じています。

私が研修医の頃は、高齢者に対する手術が話題となるときは 65 歳以上を指し、80 歳以上は超高齢者として、手術すべきかどうかということが議論されていました。しかし、麻酔の進歩や手術侵襲（身体への負担）が軽減されてきたため、最近では 80 歳でも大きな合併症がなければ問題なく全身麻酔下に大きな手術もできる様になってきました。

乳がんは比較的発育が遅く、消化器癌と違って摂食障害はほとんど起きません。しこりを自覚しても痛くも痒くもないため数年放置してから来院する方も珍しくありません。つまり、放っていてもすぐに死んだりしないがんです。一方、消化器癌は放置すれば食べることができなくなり、痩せ細り衰弱していきます。そうならない様に早めの手術が望まれます。もちろん、乳がんも放っておけば転移をきたし悪化しますから、早めの手術が望ましいことは変わりありませんが、どちらかと言えばゆっくり進行するタイプが多いと思います。

例えば、毎日散歩をしている 90 歳の元気なおばあさんが胃がんになって食べられなくなったとしたらどうでしょう。手術することでまた食べられるようになる可能性がある以上、合併症などのリスク（心臓が悪いとか、ひどい糖尿病があるとか）が無ければ、手術も考慮するでしょう。食べられさえすれば体調もよくなり普通に生活できる様になると思われるからです。そもそも消化器癌は進行すれば確実に食べられなくなり衰弱していきます。しかも 1 年以内にそのようになる可能性が高いがんです。ですから、可能なら早めに手術をしたいと思うわけです。

では、90 歳の乳がんの場合はどうでしょう。しこりを切除しなくても 5 年以上生きられるかも知れませんが、逆にしこりがどんどん大きくなって転移をきたしてしまうかも知れません。しかも、90 歳なら来年ぼっくり逝ってしまうかも知れず、手術が無駄に終わる可能性も十分に考えられます。何もしなくても天寿を全うできるかも知れないし、かといって、このまま放置して腫瘍が大きくなったらどうしよう、そうなるからでは全身麻酔もできなくなってるかも知れず、ああ、あの時やっておけばよかったと悔やむかもしれません。切るべきか切らざるべきか、非常に悩ましい場面です。要は、乳がんの場合、放置していても普通に生活していけるため、手術することが逆に QOL（生活の質）を下げてしまう可能性があります。つまり、命が尽きるのががんの進行スピードを比べ、命の尽きる方が早いなら手術はしないけれど、がんの進行の方が早いなら悪化する前に手術しようということですが、どっちなのかわからないため悩むのです。

私は個人的には切除できるのであれば切除した方がよいと考えます。乳がんはそう簡単に命を奪うものではないにしても、大きくなれば皮膚を破って顔を出し、擦り傷の様にそこから体液や血液がにじみ出てくる様になり、さらに大きくなると化膿して悪臭を放つ様になります（幸い痛みはあっても軽度）。そうなると、もう切除は難しくなります。また、大きくなれば転移を来し、様々な症状が現れます。乳がんの手術は全身麻酔が必要ですが、全身への負担は比較的少なく済むと考えます。

増大する前に切除しておけば、治癒する可能性もあります。ですから、切除できるのなら切除した方がいいと思います。

しかし、高齢のため手術をためらう方が多いのも事実です。手術しないで薬で治らないかと思う人もいます。確かに薬で小さくなる人はいますが、やはり切除しないと治癒には到りません。ただし、進行を抑えることは可能かもしれません。高齢者の場合、残された命がどれくらいあるのかわかりませんが、必ずしも治らなくてもいいのではないかと。つまり、症状がなければ、がんと共に残りの人生を普通に生活できればいいと考えることもできます。

どうせ、もうすぐあの世に行くんだから手術しないでポックリ逝きたいという人もいます。しかし、期待に添えなくて申し訳ありませんが、乳がんでぽっくり逝くことはありません。早期発見・早期治療は高齢者でも同じです。

## 【RinRin 事務局からご連絡】

「りんりんの会 会費納入について確認です。」

- 2020 年度もあと 2 か月となりました。定例会などでお会いした時にお支払い予定でいらっしゃった会員の方々には、会費納入の機会が全く無くなってしまい、ご面倒をおかけしておりました。
- お問い合わせ等も頂いており、再度、納入の手続き方法を記載致しましたので、よろしくお願い致します。

今年度は、1,000 円(主に通信郵送にかかる費用分のみ)の納入をお願いしておりました。

- \* 口座に現金で払い込み⇒同封致しました「払込取扱票」に**金額・住所・氏名**をご記入の上、郵便窓口あるいは郵便局 ATM にてご送金願います。
- \* **手数料がかかります。払い込みは決算の都合上、2 月末までお願いします(厳守)**
- \* こちらの不手際で納入済みの会員の方にも同封しておりましたら、「払込取扱票」は廃棄していただきます。
- \* 郵便局での払い込みが難しい場合は、りんりん携帯にご連絡を入れてください。
- 今後、失礼の無いように確認させていただきますが、郵送不要あるいは退会を希望される方、又は入会後に通信が届いていない方がいましたら、
  - \* **りんりん携帯 090-6259-9205 (rinrin-heart2004@ezweb.ne.jp)** にご連絡(メールでも可)をお願いします。(お手数をおかけいたしますが、宜しくお願い致します。)

\* 協力医療機関：大崎市民病院 地域医療連携室 \*